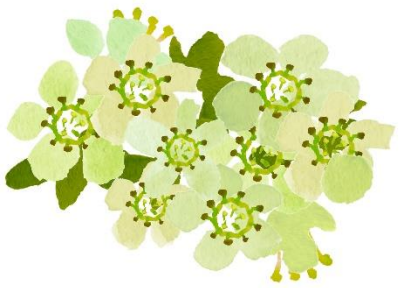


ひなたぼっこ

さくら号
Vol.337
（2020.3）

祈願祭／今年度の苦情・要望について／それぞれの生活のご様子

祈願祭

令和２年１月９日に毎年の恒例行事となりました祈願祭」を訓練棟にて執り行わせていただきました。

例年ですと 成人の祝い」も一緒に開催いたしますが、今年度は対象の利用者の方がいらっしゃらないため、祈願祭のみ開催する形になりました。

今年度も彌久賀（みくが）神社の春日宮司にお越しいただき、玉串拝礼とご祈祷をしていただきました。厳粛な雰囲気のなか執り行われる祈願祭は、普段言葉数の多い利用者の方々も自然と静かになられるような、不思議で幻想的な時間でした。

施設入所のグループ、通所グループに続いて就労グループそれぞれの利用者の方、職員の代表が次々と玉串拝礼を行った後、支援者の代表として金山自立支援課長が拝礼いたしました。自立支援課長の動きに合わせて参加者一同が手を合わせ、今年度の無事を祈らせていただきました。

今年度の苦情・要望について

◆ご意見箱より

職員同士の会話で、特定の職員を揶揄するような会話が廊下まで聞こえ、非常に不愉快な思いをしました。他の方が聞かれたらどのような思いをされるのか、是非とも対応をお願いします」

◎対応

聴き取りを行い、ご指摘に該当する事象があったことを確認し、全職員に対して今後陰口や揶揄するような会話がないように周知しました。また、チームで共通認識を持って取り組んでいくことを確認しました。施設内の掲示板にご意見に対する回答として張り出しました。

◆通所利用者のご家族より

発熱をしたからと再三連絡をされても家庭の事情ですぐに迎えに来られない時もあります。施設には看護師もいるのに、対応をしてもらうことはできないでしょうか？４月から、部署の職員も変わり、連絡ノートに活動の様子があまり記載されておらず、様子がわかり難いです。」

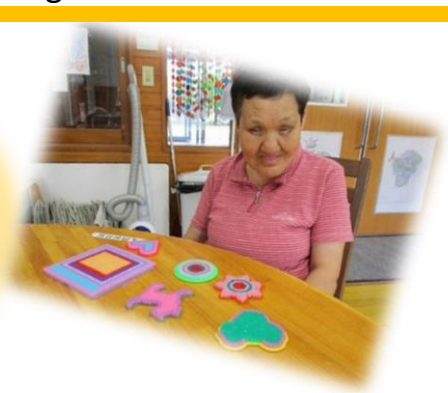
◎対応

体調不良時の対応について、家族に連絡を入れる場合の目安や施設で対応できること、連絡体制など両者で話し合いを持ちました。日頃の様子もお話させてもらい、安心されました。また、記録の工夫をすることにも取り組みました。

貴重な意見を頂き、施設としても真摯にとらえ、より良い施設となるように改善をしていきます。今後ともよろしくお願いします。

それぞれの 生活のご様子

《 通所 ほのぼの ～ 生活のご様子 》



ほのぼのは通所の生活介護です。私たちの活動内容は、利用者の方への個別作業の他に、外出やカラオケ等のレクリエーションを重点的に提供しています。

今号のひなたぼっこでは、個別作業とカラオケの様子をお伝えします。個別作業は利用者の方がそれぞれ希望された好きな事や得意な事をされています。

今はアイロンビーズを使った作品作りが流行っており、多くの方が取り組まれています。色の組み合わせや形は様々で、利用者の方の個性が反映されている作品が多くあります。また、カラオケを毎週金曜の午後に開催しています。皆さんが楽しみにしている行事で、他部署の利用者の方も参加されています。ご自身で歌うことはもちろんのこと、他の利用者の方の歌に合わせて踊ったりと、和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごされています。

《 入所 はまなす棟 ～ 日帰り旅行 》

「バス来たよ！」と職員に嬉しそうに話され、駆け足でご家族と車内へ入られる利用者の皆さん。普段から、「バス乗るか！バスいつ来る？」と心待ちにされており、その日は待ちに待った日帰り旅行の日です。

今年の日帰り旅行は、3班に分け、行先も斐川の湯の川温泉にある「四季荘」と、多伎にある「宇引きが丘公園」へそれぞれ出掛けました。今回のテーマは、ご家族同士や職員とゆっくりお話が出来るように時間を多めに取り、いつもより豪華な食事とゆったりとした時間を過ごしていただけるように考えました。また、斐川に近いご家族は、現地集合で来ていただきました。

「四季荘」では、様々な食事が出て来て、皆さん夢中で召し上がっておられました。鯛の尾頭付きが出て来た時は、正直、骨が刺さらないか焦りましたが、美味しくいただくことが出来ました。温泉にご家族と入られた方もおられ、楽しいひと時を過ごされました。

「宇引きが丘公園」はほぼ貸し切り状態で、天気にも恵まれ、青空の下、海を見ながら、お弁当を皆さん完食されていました。食後、遊具や芝生で楽しいひと時を過ごされています。

楽しそうに過ごされる利用者の方や、そのご家族の姿を見て、職員もほっこりとした気持ちになりました。今年の経験を活かして、来年も楽しい日帰り旅行を企画していきたいと思います。

《 入所 はばたき棟 ～ 生活のご様子 》

はばたき棟は男性13名、女性12名の利用者の方が生活を送っておられます。自立棟と呼ばれているはばたき棟の利用者の方も高齢化してこられ、従来の活動場所であった作業棟への移動も難しくなられる方も増えてきました。

今年度の1月より活動場所が作業棟から訓練棟へ移動となりました。以前の活動室と比べ、こじんまりとした作業部屋となっており、静かな空間の中で利用者の方それぞれの活動に取り組まれています。

活動場所が近くなったことでご高齢の利用者の方も活動に参加されるようになり、職員や他利用者の方と会話をされながら活き活きと作業を行っておられます。引っ越し後、間もないためまだ物品が十分ではないですので、利用者の方に希望を伺いながら必要物品を揃え、快適に作業を行えるような空間作りを次年度も行っていきます。